



一部事務組合議会から報告

ごみ処理・し尿処理

小川地区衛生組合議会
(令和3年2月18日)

し尿処理施設の延命化始まる

令和3年度一般会計予算総額は13億4180万円（当町の負担額は3億4446万円）。平成7年稼働のし尿処理施設（池ノ入環境センター）は、管内処理人口に伴う受入量の減少や、施設老朽化による処理能力の低下等に対応するため、施設延命化計画を見直し将来に向けた適正な処理の方向性を定める必要があります。施設規模や処理方式などを含めた整備方針案を作成します。

消防・救急・斎場の管理運営・介護・障害審査会

比企広域市町村圏組合議会
(令和3年2月4日)

消防指令業務の広域化

令和3年度一般会計及び各特別会計の予算総額は31億5890万円（当町の負担額は5億2405万円）。斎場施設整備事業の進捗状況は91.2%（1月末）で、6月に完了予定です。構成17市町村（比企広域ほか所沢市など）による消防指令業務を共同運用するため、協議会が設置されました。運用開始は令和6年度を予定しています。

コロナ禍でも一步前へ

総務常任委員会

テーマ ウェブ会議の利活用

いかなる事態においても議会機能を発揮

人と人との物理的な接触を控えなければならないコロナ禍や、集まることができない非常事態において、会議等をいかにして開催していくか課題を抱えていた。当委員会では、庁舎の通信環境に進展が見られたことから、通信端末を活用した会議を実施した。いかなる事態においても議会の機能を継続的に発揮するため、直ちに通信端末及び通信環境の整備、会議規則の整備等を検討する委員会の設置に取り掛かるべき。



キーワードは…

直ちに議会のICT化に取り掛かれ



ウェブ会議の様子

第35回議会広報全国コンクール 応募311紙

過去最高位の4位 優秀賞

創刊号からの努力の積み重ね

4年連続でベストテン入りし、初の優秀賞（全国4位）をいただきました。審査員の講評では、『巻頭紙面は、施策ごとに数値化情報・質疑及び答弁情報・住民の意見を配置し、情報を多面的に編集している。「議員が質した238のこと」は、紙面で紹介する質疑内容の要点を絞った編集で、住民に情報を分かり易く訴求している。紙面を通して、視覚的なメリハリを効かした表現に長けている』などの評価をいただきました。講評と照らし合わせて読んだら2倍楽しめます。

「ローマは一日にして成らず」これもひとえに、1号から受け継がれてきた先輩方からの歴史の積み重ねが受賞につながったと確信しています。

いよいよ次回は100号の節目です。
お楽しみに！

受賞した「おがわぎかいNo.95」と、
全国コンクールの
結果一覧は、議会
HPからアクセス！

感染対策をしながらの編集委員会

経済建設常任委員会

テーマ 小川地区衛生組合ごみ処理施設の現状と今後の対応策

これ以上の延命には耐えられない施設

新施設の建設が頓挫した今、早期に今後の対応策を提示することが必要である。小川町住民の問題であるが、広域で進めてきた課題であるため、段取り良く住民との意見調整を積極的に進めていかなければならない。機を逸した問題であり、さらに逸してしまうことは避けなければならない。当町としての考えをしつかり示すことを望む。※視察後に可燃ごみ処理あり方検討委員会からの報告で、将来的に向けた基本的な考え方を示された。令和4年度から民間委託に移行予定。

キーワードは…

不燃ごみ処理施設の併設も課題

可燃ごみが搬入されたごみ焼却施設

厚生文教常任委員会

テーマ オンラインを活用した高齢者の生活支援

高齢者を取り残さない展開に期待

当町が先駆的に取り組んだ「オンラインお茶会」は評価すべきであるが、現実は難しさもあり課題も明らかになった。新しい生活様式が求められる中、デジタル機器を使いこなせるか否かで新たな格差を生んではならない。

以上の観点で調査研究を行った結果、現在幅広く使用されているLINEアプリの活用と、「オンラインお茶会」の実演会を開催することで、デジタル社会から当町の高齢者が取り残されない事業の展開を期待する。

キーワードは…

LINE機能活用サポーターの養成

オンラインお茶会の説明会

17

おがわぎかい No.99 令和3年3月定例会

おがわぎかい No.99 2021.5.1発行

16

3常任委員会
調査研究